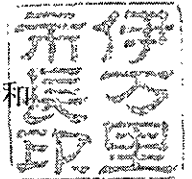


伊国港 72 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省 道路局
局長 金井 道夫 様

伊万里市長 塚部 芳和



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のあった上記のことについては、
別紙のとおり回答します。

記

提出内容

- ①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など（様式①）
- ②地域の現状と抱える課題（様式②）
- ③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）（様式④）

1. 人口の流出や少子高齢化の進展など非常に厳しい状況にある地方における道路は、活力ある地域社会の形成や産業活動の振興を図るために、重要な社会資本である。
地域間相互の交流、連携を図り、災害時の緊急輸送に、また、救急救命のためにも交通弱者を守る生活道路としても不可欠であり、道路整備は地方の発展に欠かせない重要な課題である。
しかしながら、地方の道路整備は都市部に比べてかなり遅れていることから、地域活性化のために地方への重点的な道路財源の確保など十分配慮してほしい。
2. 市道整備事業における国庫補助事業対象路線については、画一的な道路構造令の適用ではなく、地域の実情に応じた道路整備を認可し、市道の整備率の向上を促進すること。
例：1車線改良工事や部分的な歩道設置及び待避所設置なども国庫補助事業対象路線として認めること。

○現状 西九州北部地域の都市と、九州における経済・文化の中心都市である福岡市を結ぶ西九州自動車道は、本市にとって、都市間交流を活発化し、東アジアに最近接地にある伊万里港を中心とした、市勢の浮揚を図るうえにおいて、重要な基幹道路となるもので企業や市民は早期完成を熱望しています。 現在の進捗状況としては、総延長 150 kmのうち、全体で約 67 km（約 45%）、内訳は福岡県が約 33 km、佐賀県が約 12 km、長崎県は約 22 kmが供用開始されています。 佐賀県だけを見ますと総延長約 44 kmのうち約 12 kmであり、供用率は 30%にも達していない状況であります。	○課題 地方の道路整備の実情は、都会に比べ、質・量ともに未だ不十分であります。公共事業を取り巻く環境は厳しく、道路特定財源につきましては、平成 21 年度から一般財源化することが今年 5 月に閣議決定されております。 地方の自立のためには、地域経済の活性化はもとより、教育・医療・福祉等生活環境の向上とともに、個性ある地域創りによる、自立した地域社会の構築が必要であり、社会資本の整備とりわけ本市の浮揚に真に必要な道路として西九州自動車道の早期完成を熱望しています。
--	--

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

佐賀県伊万里市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や 評価等	○その他
水害等の災害に強い国土づくり	平成 18 年 9 月 16 日の集中豪雨の地すべりにより、重要な幹線道路である南波多町府招の国道 202 号が、一週間通行止めとなり、交通が完全マヒした。	災害時の代替道路や緊急時の輸送路となる。	
都市間交通の快適性、利便性の向上	平成 17 年 12 月に唐津 IC～浜玉 IC 間 6.6 km が開通したことにより、伊万里～福岡間を走る高速バス「いまり号」の利用者が 15～20% 伸びた。	都市との人・物・情報の交流が活発になる。	
国際競争力の強化のための交通サービスの向上	伊万里港国際コンテナターミナルは、平成 9 年韓国釜山港との航路開設以来、近隣アジア諸国との間でコンテナ取扱量が急増しているが、今後地理的な状況から、競争力の低下が懸念される。	西九州自動車道を早期に整備することにより、伊万里港が博多港のサブ港になる。	